

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 2学年は、1学年時に学習したことのうちの地理的分野（気候、アメリカ州の産業）についての理解が進んでいた。ICTを利用して資料を提示し、問題に多く取り組んだことが効果的であったと考えている。
- ・ 3学年は、授業規律を整えて落ち着いた授業環境で学習に取り組むことができた。また、資料を多く活用し、読み取る練習を行ったため、以前より資料を的確に読み取る力が身についてきた。

(2) 課題

- ・ 授業を行った直後はしっかりと理解しているが、少し時間が経つと内容が抜け落ちてしまっているため、定期的に復習を行う機会を設け、確かな学力につなげていく必要がある。また、授業内では新しく学んだことと、既習済みの知識で結びつくところを生徒に気づかせることを意識して授業を行っていききたい。
- ・ 学習内容の語句、事項を解答できればよいだけではなく、自分事として自ら物事を考えられるようにする。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	2つの観点共目標値を下回っていた。	/	/
第2学年	2つの観点共目標値を下回っていた。	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第1学年時)	/
第3学年	2つの領域ですべて目標値を下回っていた。	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第2学年時)	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が全体では目標値を9.8ポイント下回った。一方で、日本の政治、鎌倉・室町時代に関する問題が目標値を上回り、特にSDGsに関する問題が目標値を10ポイント以上上回った。	正答率が目標値を11.8ポイント下回った。一方で、鎌倉時代の御恩と奉公に関する問題が目標値を上回った。	

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が地理・歴史全体で目標値を 12.2 ポイント下回った。その中で、地理分野の気候に関する問題が目標値を上回った。	正答率が地理・歴史全体で目標値を 10.4 ポイント下回った。その中で、地理分野の気候・アメリカ州の産業に関する問題、及び歴史分野の中世の社会に関する問題が目標値を上回った。	

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体的に目標値を下回っているが、特に歴史分野で大きく目標値を下回っている。	目標値を下回っているが、資料読み取り問題は、目標値に近い数値が出ている。	資料を読み取って答える問題や、最近学習したことについては積極的に答えているようだが、1, 2年生の学習内容だと正答率が低いため、既習事項を復習していないことがわかる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識を定着させ学習内容を理解すると共に、的確に表現することが課題である。そのために授業や定期考査だけでなく、ワークや小テストにより基礎学力の定着を図る。	語句・出来事の暗記だけでなく、資料や学習事項を活用して課題に取り組むことが必要である。また記述問題に数多く取り組むことで、適切に文章にまとめる力を養う。	タブレットを使用した調べ学習やレポート作成、発表する機会を設けることなどにより、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理・歴史分野共に知識、理解が進んでいなかった。今後はICTを活用すること、及び反復学習により理解を深めさせる。	資料を読み取り考察し、表現する問題で特に正答率が低い結果となった。今後は提示された資料を参照し、記述する練習を数多く行うこと、及びなぜそのような結果になっているのかというところまで考え、理解を深めていく。	語句や事象を記憶・解答するだけにとどまらず、タブレットやデジタル教材を活用して自ら考える学習を行うことで、社会的な事象を自分事として捉えられるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1, 2年生で学んだ歴史の内容を kahoot や小テスト形式で定期的に振り返ったり、新しく学んだことと既習事項を繋げる作業を取り込み、流れを意識させていきたい。	資料を読み取る問題に関しては引き続き授業内で行っていききたい。しかし、その読み取ったことを言語化することには苦手意識があるようなので、読み取ったことを文章で表す練習も授業で行っていききたい。	身近なもの結び付けながら、今まで学んだことや、新しく学習を行うことに興味を持たせ、日常から社会に触れさせるようにしていく。また、授業内だけではなく、ドリルパークなどを活用し、家庭学習も自ら積極的に行えるようにしたい。